

2022年11月14日、
200号を発行しまし
た。指揮者武田雅博
先生の提言に触発さ

コロナ乗り越え 情報共有 200号に!

するのではないでしょ
うか。フリーランス音楽家
の悲痛な声を多くの音
楽愛好家に届け、異

常事態における悩みを共有するために『おんがく広場』は生
まれまして。

『おんがく広場』には、作曲家、指揮者、ピアニストはじめ
器楽演奏者、オペラ歌手、合唱団員など音楽関係者延べ
多数の方々が原稿をお寄せ下さいました。また、原稿は頂
かなくとも、facebookやメールで情報交換するなかで頂い
た情報を整理し記事としてきました。本来は原稿料につい
ても、お支払いしなければならないところですが、こちらはボ
ランティアでやっているため、無償でお願いしなければならず、
心苦しいかぎりです。

『おんがく広場』は、筆者が運営しているホームページ
(シュンポシオン)に掲載していますが、内容が多岐にわたり、
全体が見えないことに気が付きました。そこで、多くの方々
から頂いた貴重な情報(記事)をカテゴリーに分けてみると、あ
らためて『コロナ禍の合唱』がどのようなものであったかがよく
見えてきました。コロナ禍の記録としても意義があるのではな
いでしょうか。当時の声のまま一冊の
本として再現することとしました。これ
は、編集者として貴重な原稿に対
する責任でもあると思います。

『おんがく広場』は、筆者が運営しているホームページ
(シュンポシオン)に掲載していますが、内容が多岐にわたり、
全体が見えないことに気が付きました。そこで、多くの方々
から頂いた貴重な情報(記事)をカテゴリーに分けてみると、あ
らためて『コロナ禍の合唱』がどのようなものであったかがよく
見えてきました。コロナ禍の記録としても意義があるのではな
いでしょうか。当時の声のまま一冊の
本として再現することとしました。これ
は、編集者として貴重な原稿に対
する責任でもあると思います。

『おんがく広場』は、筆者が運営しているホームページ
(シュンポシオン)に掲載していますが、内容が多岐にわたり、
全体が見えないことに気が付きました。そこで、多くの方々
から頂いた貴重な情報(記事)をカテゴリーに分けてみると、あ
らためて『コロナ禍の合唱』がどのようなものであったかがよく
見えてきました。コロナ禍の記録としても意義があるのではな
いでしょうか。当時の声のまま一冊の
本として再現することとしました。これ
は、編集者として貴重な原稿に対
する責任でもあると思います。

貴重な記録 のちのために本として残す

『おんがく広場』は、筆者(加藤良一)のホームペ
ージ*に専用コーナーを設けて掲載し、また、facebook、
twitterにもアップしています。本年8月、それまでの
バックナンバーを整理し、時系列の視点も加味して一
冊の本にまとめ広く読んで頂けるようにしました。お
手に取って頂けたらさいわいです。

Amazonのサイトはこちらです [click ↓](#)

[コロナ禍の合唱『おんがく広場』はこうして生まれた](#)
| 加藤良一 | 本 | 通販 | Amazon

Amazonに以下の紹介文を書きました。

本書は、コロナ禍で生まれた音楽情報紙
『おんがく広場』を項目別に整理しまとめたもの
です。新型コロナウイルス感染症に対する緊
急事態宣言の発出で、すべてはここから始まり
ました。三密を迫られ、人々是对面で向き合
うことができず、街は静まり返りました。サービ
ス業はじめ多くの分野で仕事なくなり、困窮す
る人々が続出しました。もちろん音楽芸術の
分野も例外ではなく大きな影響が出ました。

フリーランス音楽家の窮地を目の当たりにして

いわゆるフリーランスの音楽家にとっては、音
楽会を開けない、ヴォイストレーニングなどの指
導もできない状況に陥りました。つまり仕事の場を奪われて
しまったのです。フリーランスの指揮者に指導を仰いでいる合
唱団ではどう対処しているのでしょうか。合唱団ごとに事情
はさまざまです。それら個別の情報を共有し、参考にするこ
とで、フリーランスの方々に何らかの応援ができるのではない
か、それはとりもなおさず、合唱文化を絶やさないことに直結



いでしょうか。当時の声のまま一冊の
本として再現することとしました。これ
は、編集者として貴重な原稿に対
する責任でもあると思います。

第1章職業音楽家の願い、以下、
『おんがく広場』の誕生、オンライン
の可能性を探る、マスクに振り回さ
れた2年間、見えないウイルスとの
闘い マスクと飛沫の実証実験、ガ
イドラインはあくまで参考、ポスト
コロナの合唱活動を考えよう、コン
クール 合唱祭 フェスティバル 講習
会も中止に、コロナ禍 演奏会の延期や中止を乗り越え歌
う、2020年の音楽文化、巻末に「新型コロナウイルス感
染症新規感染者数の推移と全日本合唱連盟の対応」、
「新型コロナウイルス感染症に対する各種措置の推移」、
『おんがく広場』バックナンバーの10章立て
の構成とし、読みやすさに配慮しました。

